

歴史と文化 (History and Culture)

西洋音楽の歴史 (History of Classical Music)

宮澤 一人・教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『芸術』)

【授業の目的】 西洋音楽の約 1000 年の長い歴史を理解し、それぞれの時代の音楽が持つ固有の美しさを体感する。音楽は人間が生物として生きていくためには、必ずしも必要ではない。しかし人間らしく生きていくために必要な「心の情操」を身につけるためには、もっとも有効な手段である。それぞれの時代には、才能にあふれた人間が、自らを奮い立たせ努力した結果としての優れた音楽が存在する。それらを知り味わうことが、現代という時代をよりよく生き抜くために不可欠である。

【授業の概要】 先ず、西洋音楽史全体の流れを説明し、その後重要な時代や作曲家を取り上げて、それぞれの作品を鑑賞する。 [公開] ○要件:

【キーワード】 音楽と宗教, 芸術音楽と娯楽音楽, 音楽と世界史の関わり, 音楽と批評

【到達目標】 音楽史の全体を理解し、それぞれの音楽が持つ魅力や美しさについて、文章等での的確に表現する技術を身に付ける。

【授業の計画】

1. 西洋音楽史の全体像, および中世の音楽
2. ルネサンスの音楽
3. バロック音楽
4. J.S. バッハ
5. ハイドンと交響曲の完成
6. モーツァルト
7. ベートーヴェン
8. ベートーヴェンと「交響的概念」
9. シューベルト
10. ベルリオーズと楽器の発展
11. 19 世紀ロマン派音楽の全盛期
12. ワーグナー
13. ブラームス
14. 20 世紀の音楽
15. レポート提出
16. 総括授業

【教科書】 教科書は使用しない。参考書等は授業の時に紹介する。毎回授業内容についての資料を配布する。

【参考書等】 岡田暁生『西洋音楽史』中公新書 1816 ISBN4-12-101816-8

【成績評価の方法】 授業中に指示するレポートの内容、授業への取り組み状況により決定する

【再試験の有無】 無

【受講へのメッセージ】 音楽に興味を持ち、静かに鑑賞できること、また授業中に楽譜を用いて説明を行うこともあるので、楽譜が読めることが必要である。教室の都合により、受講生を 50 名に限定する。この講義の内容は、前期の「西洋音楽の歴史」と同じである。従って前期にこの講義を受講した学生は、後期の受講はできない。なお、教室が共通教育棟から離れているので、事前に確認しておく方が良い。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221062>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 宮澤 (マルチメディア A 棟 204, 088-656-7163, miyazawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 後期, 木曜日 3~4 講時